

## 「ロードマップ」に関する確認事項・問題提起

総務部会 2023年1月12日

### 1. 全体的な問題点

- ① 本来「ロードマップ」の作成にあたっては、理事者から基本的な指針と目標とする財政指標、および個別の数値目標と期限が示されるべきと考えるが、どう示されたのか。
- ② 個別数値目標・期限が示されているのは職員数削減くらいで、「調査」「適宜検討」が多用されている。このようなものはロードマップに値せず、行革委としては、単に行政の現在の考え方を示しただけのものと受け取らざるを得ない。
- ③ 果たして答申内容を理解して作成されているのかを疑わせる記述が各所に見られ、理事者のリーダーシップ、マネジメントが見受けられない。
- ④ 答申を実行して、財政を健全にするという道筋が示されていない。

### 2. 個別の問題点

#### <第一次>

- ① **職員数、人件費 (1~5)** 正規職員は92人まで減らすとなっているが、削減額は5,400万円に留まっている。目標値1億円程度をどう捉え、どのように目標達成を果たすのか。
- ② **組織体制 (8)** R5に9課にしているが、その理由は何か。新たな社口原農地問題などに振り回されるのではなく、役場全体について、職務内容の改善や人的配置などの見直しを行うべきではないのか。どのように改善するのか。

#### <第四次>

- ① **公共施設全般 (28)** 「個別施設計画にのっとり、不要かつ活用できる普通財産は、売却や貸付」を図るということであるが、その道筋(いつ、何を)はどう考えているのか。
- ② **保育園 (34、35)** 「R3年度の答申を基に方向付ける」となっているが、行革委の答申はどのように取り込まれるのか。
- ③ **小学校 (37、38)** 保育園同様、行革委答申の考え方はどのように取り込むつもりか。
- ④ **ハーブガーデン (44、45)** 指定管理者制度についてなぜ西側と合わせてR8以降としなければならないのか。その前に見直しを行うつもりはないのか。改革しようと思えばすぐに出来ることではないのか。
- ⑤ **庁舎等 (30、51)** 「20年間現庁舎を利用する」としているが、長期使用に耐えるのか。また、改築費用を目的基金として別途積み立てないとしているが、それでよいのか。駐車場の返還までの手段の検討に1年も掛ける必要があるのか。
- ⑥ **商業エリア (58)** 「購入または賃借希望者の募集」としているが、これまで放置してきたことをどう総括しているのか。また、どのような方針で募集を行い商業活性化に寄与するつもりか。
- ⑦ **非農用地 (59)** 町民に計画についてどのように説明してきたか。また、「多目的広場」を既定方針として事業をすすめようとしているが、財政負担、将来見通しなどの説明責任を十分果たしていないのではないのか。

#### <第五次>

- ① **補助金 全般 (63~65)、社協、商工会 (66~69)** 補助金の算定根拠の明確化は、やろうと決断すればすぐにも出来るのではないのか。それをなぜR6まで調査・検討・調整を行わなければならないのか。
- ② **事務事業 行政サービスの質の向上 (77~81)** 「研修」を前面に押し出しているが、本来は理事者が的確に方針を示し、庁内で議論が行われ、施策が具体化されるという日常的な役場運営のあり方が問われていることについてどう思うか。研修で解決するわけではない。